

平成27年12月10日定例教授会議事抄録

出席者

高見澤所長

池本, 板倉, 鎌田, 佐藤, 菅, 園田, 高橋, 田中, 長澤, 名和, 平勢, 榊屋, 松田,
安富の各教授

青山, 李, 池亀, 小寺, 鍾, 馬場, 森本の各准教授

海外渡航者

大木, 黒田, 中島の各教授、塚本, 古井, シルツの各准教授

議事に先立ち12月1日付け採用教員から挨拶があった。

議事

11月26日開催の教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募について、資料P5のとおり1件。

報告事項

2. 所長報告

高見澤所長から、以下の会議等について報告があった。

1) 総長室総括委員会(12月1日)

次年度以降の日本・アジアに関する教育研究ネットワーク(以下「ASNET」という)継続について審議するための機構長ヒアリングが行われたこと、現在、財務担当理事に対してASNETへの予算措置を継続いただけるよう交渉の準備中であること等報告があった。

2) 拡大入試監理委員会(12月1日)

平成28年度大学入試センター試験(1月16日、17日)及び前期日程試験(2月25日、26日)において、事務方より試験監督者の依頼があった者については協力をお願いしたいこと、試験当日は勿論のこと、事前説明会にも最優先で必ず出席いただきたいこと等説明があった。

3) 科所長会議(12月1日)

①東京大学とスイス連邦工科大学チューリッヒ校との間における戦略的パートナーシップ協定の締結

資料P8～10に基づき、柔軟かつ互恵的な戦略的パートナーシップ協定の締結が承認された旨報告があった。

②東京大学とボン大学との間における全学協定の締結

資料P 1 1～1 3に基づき、包括的かつ戦略的なパートナーシップ構築を目的とした全学協定の締結が承認された旨報告があった。

③「東京大学ビジョン2020」に基づくアクションの具現化についての考え方

資料P 1 4～1 7に基づき、研究・教育・社会連携・運営面におけるアクションを具現化するための考え方が例示された旨報告があった。

④初年次長期自主活動プログラム（FLY Program）の継続実施

資料P 1 8～1 9に基づき、次年度も引き続き本プログラムに取り組んでいくとの説明があった旨報告があった。

⑤2014年（第64回）学生生活実態調査の結果報告

回覧資料のとおり作成された旨報告があった。

⑥平成28年度体験活動プログラムに関する企画募集

資料P 2 0～2 5に基づき、企画に応募する場合は提案書を作成したうえ、本部学生支援課宛に提出いただきたい旨案内があった。

⑦平成27年度学生表彰「東京大学総長賞」の推薦募集

資料P 2 6～2 8に基づき、指導学生等の中に受賞に相応しいと思われる学生がいる場合は推薦いただきたい旨案内があった。

4) 全学自由研究ゼミナールの担当教員について

資料P 2 9～3 0に基づき、平成28年度全学自由研究ゼミナールの担当教員について、Sチームは池亀准教授、Aチームは青山准教授に決定した旨報告があり、続けて、ASNETも同講座への出講を検討していること、ASNETから出講する場合、本研究所として出講することになること等補足があった。

5) 教員の海外渡航（報告）

総務委員会にて資料P 5 8のとおり2件を承認した旨報告があった、

6) その他

①復旦大学文史研究院、プリンストン大学東アジア学部との第5回国際シンポジウムが来週14日～15日に復旦大学において開催され、本研究所からは自身のほか、板倉教授、大木教授、羽田教授、平勢教授、塚本准教授の計6名が出席する旨改めて報告があった。

②年末年始の行事に関して、12月28日の年内最後の業務日には年末挨拶等、特に予定していないこと、1月4日11時45分から仕事始めの年頭挨拶を行うこと等改めて案内があった。

3. 各委員会報告

1) 財務委員会

名和委員長から、資料3 1～3 6に基づき、今年度予算の執行状況、物件費・旅費・謝金等の会計関連書類の提出期限、個人研究費の預託の申請期限等について説明があり、特に個人研究費の預託については、研究費の現在残高と今年度末までの

執行計画を勘案したうえ、提出期限を厳守いただきたい旨補足があった。また、12月1日付けにて国際学術交流室（ASNET）に採用となった朱助教に個人研究費（1／3年度分）が配分された旨報告があった。

2) インフラ委員会

高橋委員長から、本学無線 LAN システムの整備事業の一環として、各会議室、部門室等に同システムが設置されることとなった旨報告があった。

3) 情報・広報委員会

池本委員長から、業績データベース（英語版）について、詳細に情報を登録できるよう仕様を改めたこと、資料 P 37 に基づき、公開講座等、一般向け講演会等の開催を案内するため、「東文研友の会」を設置することとし、研究所ホームページに関係頁の設置も行う予定であること等報告があった。

4) 研究企画委員会

梶屋委員長から、資料 P 38 に基づき、次年度研究計画の作成について、1月29日までに本計画の原案を提出していただきたいこと、引き続き研究協力者となる予定者については所属、身分等の変更確認を行っていただきたいこと等説明があった。続いて、鍾委員から、本日14時より園田教授の自己点検・評価セミナーを開催する旨案内があった。

5) 東洋学研究情報センター委員会

長澤委員長から、今後のセンターのミッション再定義を検討するワーキング・グループにおいて、①センターのミッションは現状のまま変更しない、②機関推進プロジェクト予算は公募を取り止め、500万円から300万円に減額する、③3研究分野にそれぞれ責任者を置き、当該教員が中心となり、各研究分野に相応しいプロジェクトをまとめていく、④減額した200万円は図書購入費用として、これまで全学共通経費で購入していた少数言語雑誌の購入に充て、センター資料の充実を図る、とする答申を策定した旨報告があった。

6) 図書委員会

休会のため特になし。

7) その他

森本レクリエーション委員から、1月14日の教授会開催日夕刻に開催する新年会について案内があった。

4. その他

特になし。

審議事項

5. 教員の海外渡航について

該当教員から説明があり、資料 P 49 のとおり2件を承認した。

6. 委員等の応嘱について

該当教員から（羽田教授は高見澤所長から）説明があり、資料P50のとおり3件を承認した。

7. 非常勤講師等の応嘱について

高見澤所長から朱助教申請分1件について、資料P50に基づき説明があり、承認された。

8. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員から説明があり、資料P51～52のとおり3件を承認した。また、高見澤所長から、鍾准教授担当教員の訪問研究員について、資料P52のとおり、受入期間が延長される旨報告があった。

9. 所内委員会について

高見澤所長から、資料P53に基づき、12月1日付けにて国際学術交流室に採用となった朱助教について、前任教員の担当委員を引き継いでいただく旨説明があり、承認された。

続いて、次年度の各委員会構成員について、菅副所長の任期満了に伴い、中島教授を副所長に、副センター長を長澤教授から平勢教授に、財務委員長を名和教授から松田教授に、研究企画委員長を枡屋教授から佐藤教授にそれぞれ交替したうえ、資料P54のとおり現時点において所内委員を交替・追加等することを検討していること、青山、塚本両准教授にASNETに対する支援を行っていただきたいと考えていること等説明があった。

10. 寄附金の受け入れについて

安富教授から、資料P55に基づき説明があり、承認された。

11. 評価委員会規則の改正について

高見澤所長から、大学機関別認証評価の評価項目に「外部評価」受審に係る項目が設定されていること等から、従前の規則名に「外部」の文言を追加する等の改正を行いたい旨説明があり、原案のとおり承認された。

続いて、第2期中期目標期間における国立大学法人評価及び大学機関別認証評価受審に係る調書、「要覧（活動報告書）」等、評価のために作成した資料等を基に、来年度、外部評価を受審したいと考えていること、菅副所長から、外部評価の受審にあたり、研究部門毎の評価資料も必要となってくることが予想されること等説明があった。

12. 建物使用に関する運用細則の制定について

高橋インフラ委員長から、所長からの要請を受けて、研究所建物の使用に係る運用上の規程を制定した旨説明があり、承認された。

13. 教員人事について

①松田国際学術交流室選考委員長から、回収資料に基づき、国際交流担当助教候補者について、選考過程、理由等の説明があり、投票の結果、選考委員会の推薦のとおり可決された。なお、本内定者の採用ポストとなる国際交流担当は、同室に係る教員の任期に関する規則等の改正により12月1日付けにて新たに設置されたポストである

こと、任期は平成28年4月1日から3年間となること等補足があった。

②高見澤所長から、国際学術交流室（ASNET）の朱助教より今年度を以て辞職したいとの申し出があったため、後任人事を行いたい旨提案があり、了承された。

14. その他

特になし。

以上